



学校教育目標

「社会で自立できる子」の育成

言語活動を重視した問題解決的な授業づくりの推進

系統性と地域連携を重視した小中一貫教育の推進

めざす子ども像

すすんで学ぶ子(知)

- ・自ら学び、自ら考える
- ・くりかえし学ぶ
- ・学んだことを生かす

すなおで思いやりのある子(徳)

- ・あいさつができる
- ・お互いに助け合う
- ・友達、生き物を大切にする

じょうぶでやりぬく子(体)

- ・ねばり強く取り組む
- ・くじけることなく続ける
- ・すすんで体づくりを行う

本年度の重点努力目標

①言語活動を重視した問題解決的な学習の推進と日々の授業の充実

- ・4つの「か」を大切に授業づくり(かく・かたる・かかわる→かかんがえるへ)
- ・問題解決的な単元構想の工夫
- ・わかる授業の工夫と基礎基本の定着(高学年教科担任制、個に応じた指導)
- ・「お話タイム」等の学習の土台となる取り組みの充実

②互いを認め合う温かな心の育成と命の尊さに対する意識の向上

- ・いじめや不登校の未然防止(早期発見・早期対応)
- ・互いを認め合う活動の工夫と継続的な取り組み(朝の会・学級活動の工夫)
- ・命の尊さに対する意識を高める取り組み(「学校いのちの日」週間、食物アレルギー、道徳授業)
- ・道徳授業の充実(授業の工夫、感動体験と関連付け)

③小中一貫教育をすすめ、家庭及び地域との連携のもと開かれた学校づくり

- ・子どもの育ちを基軸に系統性を重視した小中一貫教育
- ・地域ぐるみで取り組むあいさつ運動
- ・校区を愛し、誇りがもてる郷土学習の推進
- ・積極的かつ迅速正確な情報の発信と受信(HP,学校だより等)

④教師の力量向上と、教育公務員としての自覚の醸成

- ・力量向上のための取り組み(言語能力を重視した問題解決的な学習の研究推進、全員公開授業、現職研修の工夫等)
- ・教職員の誇りと自覚の醸成(不祥事撲滅のための取り組み、多忙化・多忙感解消の取り組み)